

令和5年度まちづくり市民活動補助金事業

団体名	(一社) えな健幸生活支援隊
事業名	恵那市の福祉・防災・食・協働を中心とした情報発信

◇部門

課題解決型まちづくり活動部門

◇事業の目的

閉じこもりがちな方々が、お互い交流し、思いやりボランティアが広まること、また、自分の役割、将来やってみたいことを見つける場として重層的居場所サロンを開催する。地域の多くの方々に知ってもらい、見守ってもらえるような情報発信をする。

◇事業の内容

毎週日曜夜8時から1時間のケーブルテレビ番組「ちょっとHOT タイム」を全52本制作、放映した。そのための素材収集として、取材、トーク、講演会やイベントを活動として行った。

本年は特に、福祉・防災・食など恵那市が推進する健幸生活について市民とともに協働することによって、より身近な生活に落とし込むことができるのではないかと考え、情報発信してきた。

○4月1日号の恵峰 HN に「福祉施設の特集」を企画、6事業所の取材と紹介動画を放映・配信

○4月9日 虹いろ在宅ケアクリニック鷺津先生の講演会「地域・在宅の医療・介護・福祉のネットワーク作りを考える」を企画、放映・配信

○4月23日 ジャーナリスト高世仁氏による「アフガニスタン情勢」の取材映像とインタビューを放映・配信

○6月11日 「防災トーク」岩井慶次氏に「大雨土砂災害への備え」についてインタビューし、放映・配信

○7月1日号の恵峰 HN に「肉ニュース」を企画、地域食肉産業3事業所の取材と紹介動画を放映・配信

○7月9・16日 高齢者サロンワークショップの様子を放映・配信

○7月30日 福祉施設でのいきいき寄席の様子、地域訪問看護について家族支援看護師船渡弘子氏へのインタビュー、を放映・配信

○8月5日 恵那市まちづくり活動助成団体「市民レガッタ エナハ え〜な〜」を取
材・配信

○10月7日号の恵峰HNに「恵那発酵ニュース」を企画、発酵食品6事業所の取材と紹
介動画を放映・配信

○10月29日 映画「みとりし」上映会に向けてのインタビューを放映・配信

○11月12日 ジャーナリスト高世仁氏による「日本の報道のあり方とウクライナの現
状について語る」の取材映像とインタビューを放映・配信

○12月3日 重層的支援サロン「まめな会」での、病を持ちながら当事者が講師となっ
た陶芸ワークショップを取材し、放映・配信

○12月2日 重層的支援サロン「まめな会」での、当事者が当事者を支援して発行した
冊子「おてがみとどいたよ」の紹介を放映・発信

○12月3日 社会福祉課が研修事業として開催した講演会「個性のある方への理解と支
援」（江畑慎吾先生 中京学院大学准教授）を放映・配信

○2月3日号の恵峰HNに「酒特集」を企画、発酵食品としての酒蔵5事業所を取材し、
放映・配信

○2月4日 活躍する高齢者「80歳のテノール 斎木彰リサイタル」を取材して放映・
配信

○3月19日 前年度実施した「防災CAMPワークショップ」を再放送

○3月31日 「地域の居場所とその課題」座談会（白石光男氏・三宅勝之氏）・「地域
に目を向けた医療・看護・介護 こんなコミュニティができればいいな」座談会（鷲津潤
爾先生・舩渡弘子氏・安藤英明氏・安藤寛美氏）を実施、放映・配信

◇事業の効果

「福祉・防災・食・協働」について、行政だけでなく、事業者・一般市民・地域住民の動
きや想いを伝えられたと思う。

ケーブルテレビとYouTubeだけでなく、地元新聞「恵峰ホームニュース」とコラボした
動く記事で情報が広まったと思う。

また、極楽食堂・重層的サロン「まめな会」というリアルに話せる場と、メディアをリン
クさせたことにより、情報だけでなく、実際に相談などの、福祉の一端に寄与できたと思
う。（問い合わせを繋げることができた）

市民活動しながら発信することで、ケーブルテレビ視聴者から感想をもらったり、
YouTubeでチャット参加してもらった中で、「知らなかった」「聞いてよかった」との言

葉があり、数は把握できないが、地域の話題にすることが増えたのではないかと思います。

◇活動経費

- ・事業総費・・・400,000 円
- ・補助金・・・400,000 円



事業内容 情報発信として、ケーブルテレビ、YouTube のチャンネルがあります。大変たくさんありますので、QR コードからアクセスしてご覧ください。